

機械災害防止セミナー 企画書

1. 機械災害防止の意義と重要性

(1) 教育のねらい（目的）

労働災害の発生要因を見つけ出すために、本講義では、職場巡視の意義と重要性や進め方について説明します。

(2) 教育の内容

①内 容： 講義のみ

②時 間： 約60分

2. 機械災害防止に必要な基礎知識

(1) 教育のねらい

労働安全衛生法（法令からみた職場巡視のポイント含む）、災害防止対策及び人間特性の基礎知識等についてわかりやすく解説します。

①内 容： 講義（80分）とビデオ（20分）

②時 間： 100分

3. 機械設備のリスクアセスメントと災害防止のポイント

(1) 教育のねらい

RAを実施するための進め方を説明します。また、演習を通して、特に実際に使用している機械設備のリスクの特定（見つけ方）やリスク低減措置の検討を実施して実践力を身につけます。

(2) 教育の内容

①内 容： 講義と演習及びまとめ

②時 間： 約225分（休憩時間を含む）

③演習内容；

講義：危険有害性の特定、見積り

演習1 危険性又は有害性の特定及びリスク見積り

1) 個人作業 事前準備した演習資料で受講生に危険性又は有害性の特定をし、リスクの見積り・評価を行なう。

2) グループ作業 各自記入した危険性又は有害性の特定、見積り・評価内容について意見交換を行い、調整後グループとしての見積り・評価を決め、グループ欄に記入する。重要指摘箇所1箇所以上を選定する。

講義：リスク低減対策

演習2 リスク低減措置の検討及び措置後の見積り・評価

1) 演習1で決定したリスク結果についてそれぞれ低減措置を考え書き出す。

2) 低減措置を検討する。

3) 低減措置のそれぞれについて、実施後を予測して、リスクの見積り・評価を行なう。

4) 発表

5) 講評とまとめ

*今回のセミナーを受講すると中災防から「受講終了証」が発行されます。

「機械災害防止セミナー」カリキュラム

日時：平成26年11月7日（金）
会場：理学部装置開発室（理学部E館 地階）

8:40～ 9:00	(20)	受付（理学部E館 E-B122号室）
9:00～ 9:10	(10)	開講挨拶 松村技術部長
9:10～10:10	(60)	講義1 「機械災害防止の意義と重要性」 中災防 中部安全衛生サービスセンター
10:10～10:20	(10)	休憩
10:20～12:00	(100)	講義2 「機械災害防止に必要な基礎知識」(ビデオ含む) 中災防 中部安全衛生サービスセンター
12:00～13:00	(60)	昼食・休憩
13:00～16:45 ※途中休憩を含む	(225)	演習 「機械設備のリスクアセスメントと災害防止のポイント」 (実際に使用している機械・設備を用いて) 中災防 中部安全衛生サービスセンター
16:45～16:55	(10)	質疑応答
16:55～17:00	(5)	閉講挨拶 松村技術部長